

情報端末のかしこい使い手になる 1人1台タブレット時代の保護者の役割を考える

日時：2022年7月23日（土）9時30分～12時

Zoomによるウェビナーによるオンライン

全国で1人1台のタブレット端末が整備され、子どもたちの学びが広がりました。一方、長時間の視聴、ネットトラブルなど、心配なこともでてきているのではないですか。子どもたちがタブレット端末を学習に生かすとはどのようなことなのか。そのためには、保護者はどのように接すればよいのか。みんなで考えるセミナーです。



プログラム

- 1 開会
- 2 講演「1人1台タブレット時代の保護者の役割を考える」
・毛利靖氏（つくば市立みどりの学園義務教育学校 前校長）
- 3 登壇者による現状と取組を報告
・PTAの立場から 松島雄一郎氏（熊本市PTA協議会会長）
・保護者の立場から 水野直樹氏（一般社団法人スタディライフ熊本）
・学校の立場から 田中慎一朗氏（熊本市立帯山中学校教頭）
- 4 パネルディスカッション
・コーディネーター 前田康裕氏（熊本大学）
- 5 閉会



講師 毛利靖（つくば市立みどりの学園義務教育学校 前校長）

2001年、茨城県小中学校教諭を経て、つくば市教委情報教育担当指導主事。市内小中学校の教育の情報化を推進。2008年、先進的ICT教育の実践が認められ、文部科学大臣優秀教職員(個人)表彰。2012年、つくば市施設一体型小中一貫教育校春日学園教頭。21世紀型スキル習得を指してアクティブ・ラーニングでのICTの活用。小中学校統合校務システムの構築。2016年、つくば市教育局総合教育研究所長。2018年、つくば市立みどりの学園義務教育学校校長。開校当初から小学1年生からのプログラミング学習、英語教育、SDGs教育、STEAM教育を推進。2020年、日本e-Learning大賞文部科学大臣賞を受賞。2021年、文部科学大臣優秀教職員(組織)表彰。

登壇者



松島雄一郎
(熊本市PTA協議会)



水野直樹
(スタディライフ熊本)



田中慎一朗
(帯山中学校)



前田康裕
(熊本大学)

主催：熊本大学教職大学院

共催：熊本市PTA協議会

後援：熊本市教育委員会 熊本県教育委員会

対象：保護者・教職員等教育に関心がある方

参加費：無料（事前登録制）

問い合わせ先：金井義明（熊本大学教職大学院）096-342-2797



デジタル作品 大募集!

応募期間 **12/12~1/13**

ICTを使って
創造性を
高めよう



昨年度の準グランプリの作品(静止画部門)

『壁に映った世界の現実』

フェアトレードについて学んだことをきっかけに描きました。
『児童労働』をテーマに、学校に行けず働かされている子どもの様子や、子どもたちが本当にやりたいことをsketchesで表現しました。主線をなくし、絵の上から灰色を塗って濁らせて、暗くなりすぎないように工夫しました。

(熊本市立龍田小学校6年 Nさん)

KEWデジタル作品コンテスト

小学生・中学生の創造性やアイデアがいつまっまった動画、静止画、プログラミング、音楽などのデジタル作品をお待ちしております！審査結果は、2023年1月に開催されるKumamoto Education Weekで発表されます。肖像権や著作権を守り、保護者の責任のもとで応募してください。グループの応募も可能です。

詳しい応募方法等は、QRコードを読み取り、ご確認ください。随時更新してまいります。
昨年度の優秀作品は、QRコードを読み取り、見ることができません。

主催：熊本大学教職大学院
共催：熊本市教育委員会
後援：熊本県教育委員会
熊本県PTA協議会
応募資格：熊本県内の小中学生

募集作品

- ① 静止画
 - ② プログラミング
 - ③ 動画 (1分以内)
 - ④ 音楽 (1分以内)
- 未発表の1人1作品の応募とします

